

2017年度 産学連携シンポジウム

「粉砕プロセスと粉体材料設計 — これまでの歩みとこれから」

主催 粉体工学会 粉砕の高度利用研究会・粉体工学会 粉体材料設計研究会

共催 環境資源工学会、資源・素材学会資源リサイクル部門委員会

(一社)日本粉体工業技術協会 粉砕分科会

化学工学会粒子・流体プロセス部会粉体プロセス分科会

後援 国立研究開発法人科学技術振興機構

日時 2017年5月15日(月)

13:30~16:55 シンポジウム、17:10~18:50 産学懇談の場

場所 シンポジウム会場：早稲田大学西早稲田キャンパス 62W号館 1階 大会議室

「産学懇談の場」会場：早稲田大学西早稲田キャンパス 63号館 1階 ロームスクエア

〒169-8555 東京都新宿区大久保 3-4-1

<https://www.waseda.jp/fsci/access/>

プログラム：

13:30~13:35 開会挨拶 東北大学 教授 加納 純也

13:35~14:15

講演1 「窒化物セラミックスの研究開発に携わって—人間万事塞翁馬—」

横浜国立大学 名誉教授 米屋 勝利

14:15~14:55

講演2 「セラミックスの高機能化と製造プロセスの革新を目指して」

物質・材料研究機構 特命研究員 目 義雄

休憩 (14:55~15:10)

15:10~15:50

講演3 「粉砕によるメカノケミストリーについて」

東北大学 名誉教授 齋藤 文良

15:50~16:30

講演4 「ソーティング技術の最新動向」

早稲田大学 教授 大和田 秀二

16:30~16:50 総合討論

(司会)大阪大学 教授 内藤 牧男

16:50~16:55 閉会挨拶

横浜国立大学 教授 多々見 純一

17:10~18:50 産学懇談の場

(参加費) シンポジウム：無料 / 産学懇談の場：4,000円(予定) 会場で徴収

(参加申込・問合せ先) 東北大学多元物質科学研究所 加納研究室 石原真吾

電話&FAX：022-217-5136

電子メール：ishihara@tagen.tohoku.ac.jp